

塩谷郡市医師会だより

平成12(2000)年9月11日 第14号

社団法人 塩谷郡市医師会 塩谷郡氏家町桜野 1319 番地 3 氏家町保健センター内 Tel 028(682)3518

平成12年度第3回役員会報告

9月11日(月)18時30分～21時
氏家町保健センター(医師会事務室)

出席役員

黒須 松村・阿久津・松村・小林祐・尾形新・大野・小林正・尾形直・池田・戸村・後藤・西川・川原(事務長)



議題と討論内容について報告します。

議題(1)産業(医療)廃棄物について

塩谷郡市医師会で行ったアンケート調査の結果、収集運搬業者ではアクセスマネジメント、処分業者は昭南クリーンが半数を占めているという報告がありました。

それとは別に県医師会では、医師会と民間業者との共同出資で、医療廃棄物の処理施設を作る考えがあるということが報告されました。

当医師会として、10月7日の代議員会で、これまでの経過などについて質問することにしました。

(編集部注:優良な処分施設が必要なのですが、それを医師会としてどうするかを、あるいは、どうできるのか、を検討してもらいたいものです)

議題(2)地域保健活動推進会議について

前回の役員会で地対協が廃止になり、表題の会議が出来、当医師会としては、「かかりつけ医」の重要性をアピールする自前の「健康手帳」や、介護保険の問題点を出してもらった会の開催などの意見、他に広く会員の意見を聞こうということになっていまし

た。しかし、県医師会では、県主体で行うことになり、糖尿病患者に関する実態調査を各医療機関に調査票を送付して行うことになりました。

当医師会としては、独自の活動も併せて行うことも検討しています。

議題(3)医師会情報ネットワーク推進について

現在、当医師会にあるパソコン(在宅当番入力用の栃木県から支給されたもの)にインターネット接続して、県医師会と接続することにしました。具体的方法としては現在のシステムに一切手を加えることなくハードディスクを増設することにより対応するものとする。

日本医師会と県医師会は、紙よりもネット上での情報のやり取りをする方向ですので、県と郡市医師会もそうなる予定です。

議題(4)在宅当番医制度運営事業について

県会計監査より指導がありました。平成13年度から一般会計に繰り入れて、会計処理するようになりました。

当医師会の会計士の問題は、会長が折衝にあたることになりました。

議題(5)その他。

医療機関以外の会場で予防接種を実施する場合には予防接種実施(計画)書を提出することになりました。

県医師会から主治医意見書の書き方の講習会をするよう要請がありました。

医師連盟幹事会にむけて、当医師会での意見が出されました。比例区に医師会推薦の議員を上位にするには自民党員獲得が必要ということですが、自民党の政策や会員の多様化など、さまざまな意見が出ました。

インフルエンザ予防接種について、大田原市は、老人の場合1回は市で負担するという一方で、当郡市でもそうおなるよう、働きかけることにしました。

矢板市で、納涼親睦会が行われました。7月22日あおい亭。

次回は1月に高根沢で行われますが、広く会員の参加をお願いします。

(文責:編集部)

塩谷郡市医師会ホームページ

URL <http://www.tochigi-med.or.jp/shioya/> EMAIL shioya@tochigi-med.or.jp

編集 塩谷郡市医師会広報委員会編集部

戸村 光宏 Tel 0287(46)0022 Fax (46)1232 EMAIL mituhiro.tomura@nifty.ne.jp

池田 齊 Tel 0287(43)7867 Fax (43)0207

尾形新一郎 Tel 0287(45)2222 Fax (45)2223 EMAIL INET:ogatain@kinugawa.co.jp